

7月の保育のねらい 照育(おそだて)

- ・いつもかわいがっていただく子は、幸福であることを知る。
- ・どんな人も、どんなものも、仏様のおかげを受けていることを知る。
- ・ものはどうして育つのか、よく観たり考えたりする。
- ・先生やお母さんになんでも話す。



ふじ・さくら・たんぽぽ組

- ・友だちと一緒に水遊びやプール遊びを意欲的に楽しむ。

ひまわり・れんげ組

- ・保育士や友だちと一緒に水遊びを楽しむ。

<行事予定>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 あそびにおいで 身体測定 (ふじ・さくら ・たんぽぽ)	5 身体測定 (ひまわり)	6 七夕集い 身体測定 (れんげ)	7 布団持ち帰り	8 草取り 午前8:00~9:15 (雨天の場合 22日)
9	10 七夕送り	11 避難訓練	12 絵本デー (たんぽぽ・ひまわり)	13	14 おたのしみ会 (ふじ・さくら) 愛情弁当 布団持ち帰り	15
16	17 海の日	18 あそびにおいで 集金袋持ち帰り	19	20 交通教室 (ふじ・さくら ・たんぽぽ)	21 布団持ち帰り	22 草取り 予備日
23	24	25	26	27 誕生会 集金引き落とし	28 布団持ち帰り	29 納涼祭
30	31					



給食献立表 7月分

3日 (月)	豚肉炒め 小松菜の煮びたし 焼き鯖の酢の物
4日 (火)	フランクフルト オランダ煮 玉子サラダ 黄桃缶
5日 (水)	鶏の唐揚げ 肉みそスパゲティ トマト入りサラダ
6日 (木)	白身フライ こんにゃく金平 ゆかり和え
7日 (金)	そうめん汁 星のハンバーグ 胡瓜のツナサラダ
10日 (月)	星のコロッケ マカロニケチャップ炒め 冷奴
11日 (火)	ハムステーキ 大豆の揚げ煮 キャベツのごま酢和え 白桃缶
12日 (水)	チキンナゲット 焼きうどん 夏野菜中華サラダ ミニゼリー
13日 (木)	キス天 炒り玉子 ポテトサラダ
14日 (金)	愛情弁当
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>誤嚥事故防止のため、ミニトマトやブドウ等の球状の食品は、柔らかくしたり、切ったりしてお弁当に入れるようお願いします。</p> </div>	
18日 (火)	ミンチカツ 切り干し大根煮 春雨の酢の物
19日 (水)	鶏の磯辺揚げ 五目金平 スパゲティサラダ
20日 (木)	玉子焼き インディアンポテト コロコロサラダ ミニトマト
21日 (金)	コンソメスープ 豚団子 青豆サラダ
24日 (月)	春巻 マーボー茄子 わかめの酢の物 みかん缶
25日 (火)	エビフライ 肉じゃが レタスサラダ
26日 (水)	鶏のマーマレード焼き 夏野菜玉子とじ マカロニサラダ
27日 (木)	冷やし中華 肉ギョーザ ごぼうサラダ ゼリー
28日 (金)	豆腐シューマイ 中華野菜炒め うざく パイン缶
31日 (月)	イカ天 れんこん金平 中華風酢の物

* 27日は誕生会です。冷やし中華を作りますので、主食は要りません。

* 行事食の日を含め、お箸とコップは毎日お持ちください。

* 材料納入等、都合により献立を変更することがあります。

湿度が高いジメジメした梅雨が明けたら、暑い日が続く季節がきます。食欲減退や疲労が蓄積する夏バテを防止して、元気に過ごしましょう。

今年は7月2日が半夏生です。昔は農作業で疲れた農民の栄養補給が目的で、福井では焼き鯖を食べる習慣になったようです。また、7月30日の土用の丑の日も、暑い時期を乗り切る為に、栄養が豊富でバランス良く含まれているうなぎを食べる習慣は、スタミナをつけて食欲減退の防止には効果的で、理に適っていますね。

<お知らせ>

- 7月中旬頃から、天候を見てプール遊びを始めたいと思います。水着の用意をお願いします。ビニール製のバッグに水着、タオルを入れて毎日持たせてください。プール遊びの後、心地良く過ごしたいと思いますので、水着と一緒に着替え一式（Tシャツ・ズボン・肌シャツ・パンツ等）も入れて来てください。すべての物に名前を記入してください。
※気温の低い日はプール遊びはしませんが、体調の悪い日は、担任に連絡してください。
毎朝、健康観察カードに体温と・水遊び（プール含む）○(入る)・×(入らない)を記入してください。記入されていない時・体調が悪い時・感染症が疑われる時は、プール活動をお休みさせていただきます。爪も忘れずに切ってあげてください。
- 14日（金）に、ふじ・さくら組は当園にておたのしみ会を行います。
ふじ・さくら組共に午後 8:30にお迎えをお願いします。

【ふじ組より】

- 18日（火）より午睡を行います（夏場はプール活動で疲れる為）ので、敷布団とタオルケットを持って来てください。
- 7月12日（水）におたのしみ会のお買い物でつつじバスに乗ってハニー東陽店に行きます。8時45分までに登園をお願いします。

<お願い>

- 汗をかいたりプール遊びなどで着替えることが多くなります。洋服・下着など、持ち物にはすべて名前を記入して持って来てください。
- プール遊びが7月中旬頃から始まりますので、プール遊びの日はサンダルを履いての登園でも結構です。サンダルはスナップ付きの物を履いてきてください。靴下は結構です。（つっかけ・ヒール有りの物はやめてきてください）
- 暑い日が続きますので、ふじ・さくら・たんぽぽ組は引き続き、汗拭きのハンドタオル（名前を書いて）を持って来てください。ループはいりません。
- 食中毒防止のため、ご飯を涼しい部屋で預かります。必ず朝炊きのご飯を入れてあげてください。
- 降園後の園庭遊びは、プールの中や緑のマットに入らない様をお願いします。三輪車を使った時は三輪車置き場に戻してください。また、熱中症にならない様にご注意ください。



お部屋の中では…

ふじ組



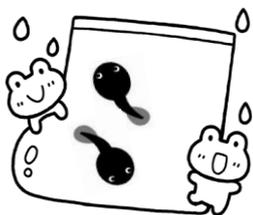
暑くなって水で遊ぶのが気持ち良くなってきました。保育園の時こそ、思いつき泥だらけになって遊んで欲しいなと思う今日この頃ですが、「泥んこしよう!!」と呼び掛けるも「汚れたら嫌だな…、濡れたら嫌だな…」と思う子が多いようです。お友達が楽しそうに遊んでいる姿を見て、「私もしたい。僕もしたい」と遊びが広がっていくよう見守っていきながら、楽しい遊びにも声掛けしていきたいなと思います。

さくら組



暑い日には、外で泥んこ遊び、色水遊びをしていきました。色水遊びではいろんな色を混ぜて見て色が変わった事を子どもたち自身で発見したり、「ジュース屋さんでーす!!」と言ってたくさんのジュースを作ったりと楽しむ姿が見られました。また、室内遊びでは、ドッチボールや鬼ごっこ、はないちもんめ等子どもたち同士で集団遊びが出来るようになってきました。今後もいろんな集団遊びを取り入れていき、ルールを理解してみんなで楽しんでいきたいと思っています。

たんぽぽ組



園庭でのダンゴムシ探しがますます上手になっています。カエルやカタツムリにもたくさん出会えるようになり、大喜び。たんぽぽでのオタマジャクシやアメンボ、タニシ等の生き物探しに出た時も、なかなか園に戻ろうとしないほど、夢中な姿に子ども達の興味が心動かすのだな…と改めて感じました。生き物があまり好きではないお友達もいますが、一緒に探す中で取ってもらったり観察する事でちょっとした変化を楽しんでいます。今後も生き物への関心を見守りながら、命の大切さにも少しずつ気付いていけるようにつなげていきたいです。

ひまわり組



日に日に気温が高い日が増えてきて、外遊びではタライに水を入れて水遊びを楽しみました。冷たい感触が気持ち良いようで手を入れたり、カップにすくって楽しんだりする様子が見られました。また、じょうろに水を入れて畑やプランター等あちこちに水やりをして遊ぶ子もいましたよ。お部屋ではかたつむりの歌がブームで朝の会の時には必ずと言っていい程、子どもたちからリクエストがきたり、遊んでいる時にも自然と口ずさむ姿が見られます。言葉も良くなるようになって子ども同士でやりとりしようとしたり、保育士との会話を楽しんでいますよ。

れんげ組 (1歳児)



6月は園庭に出て体を動かしたり水の感触を楽しみながら遊びました。水に興味津々の子ども達は水しぶきをあげて、ダイナミックに遊ぶ姿が見られました。7月も暑くなってくるので子ども達の体調をよく見ていながら水遊びを通して元気よく遊んでいきたいと思っています。

れんげ組 (0歳児)



一人歩きやつかまり立ちハイハイ等、出来るようになる事が増え、今まで以上に様々な玩具に触れ興味を持ち探索活動を楽しんでいます。ボールプールに一人でバランスを取りながらまたいで出入り出来るようになったり、少し高い場所に興味をひかれよじ登ってみたり、トンネルくぐりに挑戦してみたり存分に体を動かす事を楽しんでいます。梅雨に入り体調を崩しやすい日も多くなっているため、今月も体調の変化により注意して、健康で快適に過ごせるように努めていきたいです。また暑い日には体調を見ながら、水に触れ感触を楽しんだり心地良さを味わえるような機会も作っていきたいと思っています。

こどもかいぎ

日を追うごとに暑さが増してきた今日この頃。朝夕の気温差や日中の暑さで体調を崩している子どもいますが、園では子どもたちは毎日暑さに負けることなく、元気いっぱいに遊んでいます。

さて、先日リモートで研修を受ける機会があり、“こどもかいぎ”という映画を観ました。どういった内容かという、子どもたちが「かいぎ」をする保育園を1年間に渡って撮影したドキュメンタリー映画でした。その保育園では年長児5～6名が輪になり、そこに保育士1名が進行役としてサポートに入り、テーマに沿って自由に話し合うということをしているそうです。「どうして生まれてきたの?」「どうして雨ってふるのかな?」「死んじゃうって?」「どうしてケンカするの?」「家族ってどんな人たち?」テーマは様々。子どもたちは自由に発言して良い、お友達の話している事を聞く、答えはなくていい、といった約束事もあります。子どもたちが対話することで、子どもたちの様々な力が伸びると考えられています。聞く力、理解する力、考える力、表現する力、繋がる力、自己を肯定する力、他人に共感する力、問題を解決する力、新しい価値を創造する力、正解のない社会を生き抜く力。しかし、始めた頃にはなかなか集中力が続かず遊びだしてしまう子や自分の思いをなかなか口にすることができず委縮してしまう子などもいて話し合いが進まないこともしばしば。そんな中でも回を重ねるごとに少しずついろんな考えが出てきて、お友達の意見を聞くことでまた新しい意見を話す子もいました。まだ5歳、されど5歳。子どもたちなりに世の中の様々なことを子どもたち目線でそれぞれにいろんな受け止め方をしているのだなと思いました。

日々子どもたちと過ごしていると、目の前の事をこなすことに必死で子どもたちの思いや考えをこのようにゆっくりと聞く機会をなかなかもつことができず、大人の主観でこの子はこう思っているだろう、こうだからこういう行動をするのだろうと決めつけてしまうことがあるように思います。しかし、一人一人の子とじっくりと向き合ってみるとそれぞれにきちんと考えがあり、意見があり、いろんなことを感じ取りながら生活していることがわかります。私たちも忙しさを理由にせず、一人一人の子と向き合う機会を作り、対話し、子どもたちの思いや考えに耳を傾け、それを保育の中に生かしていきながら子ども理解につなげていきたいと思いました。

ひまわり組 担任 板倉 ちなみ

